

イベント開催時のチェックリスト

【令和4年5月版】

イベントに関する情報		
イベント名	第11回 吹奏楽と消防ラッパのコンサート	
出演者・チーム等	安曇野市消防団、地域住民	
開催日時	日付	令和4年10月9日
	時間	午後1時30分 ~ 午後3時30分まで
開催会場	安曇野市豊科公民館ホール	
会場所在地	安曇野市豊科4289番地1	
主催者	安曇野市消防団	
主催者所在地	安曇野市豊科6000番地	
主催者連絡先	(電話番号)	(メールアドレス)
	0263-72-6769	kikikanri@city.azumino.nagano.jp
収容率(上限)	100% (大声なし) (※)	人と人が触れ合わない 程度の間隔
	✓ 50% (大声あり) (※)	十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
収容人数	700名	
参加人数	約300人	
その他特記事項	・3密回避のため、扉は常時開放し換気の良い状態を保つ。 ・観覧席も前後左右と1席ずつ空け、密集するのを避ける。 ・来場者は、受付時、体温測定を実施し記録する。	

感染防止策に係るチェック項目

(注) イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

<p>①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底</p>	<p>✓</p>	<p>【大声ありの場合】 楽器の演奏者を除き、マスク着用を徹底し、飛沫が発生するおそれを抑制する。また、マスクは正しい着用(※1)や大声(※2)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意等の措置を講じる。</p> <p>(※1)マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ(新型コロナウイルス感染症)」及び「第27回基本的対処方針分科会参考資料1」参照。 なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。 (※2)大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。</p> <p>・HP、チラシにおいてマスク着用の徹底を呼び掛ける。 ・レスポンス&コール等の大声をあおる行為を行わないよう演者に求める。</p>
<p>②手洗、手指・施設消毒の徹底</p>	<p>✓</p>	<p>こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す。(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)</p>
<p>③換気の徹底</p>	<p>✓</p>	<p>大ホールは、法令を遵守した空調設備の設置による常時換気、常時窓及び扉を開放し換気を徹底する。</p>
<p>④来場者間の密集回避</p>	<p>✓</p>	<p>入退場時の密集を回避するための措置(来場者が密にならない動線の確保、時間差入退場等)を実施する。</p>
	<p>✓</p>	<p>休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制を構築する。</p>
	<p>✓</p>	<p>大声を伴わない場合には、人と人とは触れ合わない間隔を、大声を伴う可能性がある場合は、十分な人と人との間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保する。</p>

⑤ 飲食の制限	✓	飲食時の感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)を徹底する。
	✓	飲食中以外のマスク着用を推奨する。
	✓	演奏者、来場者が水分補給をする場合は、周囲の人との距離を確保した上でマスクを外して行う。
	✓	来場者の水分補給以外の飲食は、ホール内は禁止とする。
⑥ 出演者等の感染対策	✓	有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は練習を控える等、日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	✓	練習時等、大会中も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	✓	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く)
⑦ 参加者の把握・管理等	✓	演奏者等は来場時に体調管理チェックシートにて人員把握及び体温等の記録を行う。
	✓	入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)がある者の入場は認めない。
	✓	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等、イベント前後の感染防止について注意喚起を行う。

上記のチェック項目に加え、各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守します。